

茨木地区 保護司会だより



JR京都線
元茨木川鉄橋の橋脚と丸また
(上泉町、田中町)

元茨木川(現在の川端通)にかかる鉄橋の橋脚のうち、一番南側の大阪方面行きは明治9(1876)年に開通した。その隣は複線化にともない明治29(1896)年に増設された。石組がアーチ型になっているのは強度を高めるためである。大阪方面行き鉄橋は明治45(1912)年架橋され110年以上たった今も現役である。「ねじりまんぼ」という煉瓦を螺旋状に積んだ「田中の丸また」と共に、茨木市における貴重な近代化遺産といえる。また京都方面行きの北側2本の鉄橋と橋脚は複雑線化により昭和5(1930)年に増設された。

(資料提供:茨木市立文化財資料館 写真・文責 畠山眞悟保護司)

盛夏の候 皆さまにはお元気で
お過ごしのこととお喜び申しあげ
ます。
日ごろは、市政の各般にわたり、
とりわけ、更生保護活動にご理解
ご協力を賜り厚くお礼申しあげま
す。
「社会を明るくする運動」は、
犯罪や非行の防止と立ち直りにつ
いて理解を深め、それぞれの立場
において力を合わせ、明るい地域
社会を築くための全国的な運動で
あり、今年で73回目を迎えます。
一人でも多くの方に、犯罪や非
行の防止、罪を犯した人たちの更
生の重要性についてご理解いただ
き、地域でのあなたがかいご支援を
いただくことが、安全で安心な明
るい社会の実現につながっていく
ものと考えております。
近年、社会情勢が目まぐるしく
変化する中、長く続いたコロナ禍
も影響し、「生きづらさ」が大きな

ごあいさつ



第七十三回 「社会を明るくする運動」

社会を明るくする運動茨木市推進委員会

会長 福岡洋一

(茨木市長)

社会問題となっています。
本推進委員会といたしまして
は、社会におけるさまざまな「生
きづらさ」に寄り添える、安全で
安心な明るい社会の実現のため
に、今年度も、啓発ポスターの掲
示や刑務所作業製品の販売などを
計画しております。7月に開催す
る市民大会では、茨木市内にあり
今年創立100周年を迎えられた
浪速少年院の倉繁英樹院長に「矯
正院から少年院へ100年の歩
み」をテーマにご講演いただき
ます。
これらの取組が、「生きづらさ」
を抱える人、再出発を図ろうとす
る人への理解と支援に繋がる機会
になることを願っております。
皆さまには、「社会を明るくす
る運動」の趣旨をご理解いただき、
犯罪のない明るいまちづくりに、
より一層のご協力とご支援を賜り
ますようお願い申し上げます。

戦前～戦中の浪速少年院



野外発火演習



水泳指導



運動会



氏神詣



軍事教練

大正11年、矯正院法（現在の少年院法）が交付され、同12年、多摩少年院及び浪速少年院が設立されました。国の体制が軍国主義に傾倒していく中、少年院においても、様々な軍事教練が盛んに行われるようになり、太平洋戦争が開戦された後は、浪速少年院においても「少年報国挺身隊関西西部隊」を結成し、在院者に対し短期錬成を開始、順次軍需工場へ送り出すこととなりました。教育活動に、戦争の影響が色濃く反映された時代でした。

戦後～昭和後期の浪速少年院



キャンプファイヤー



運動会



畜産（実習）



盆踊り大会



板金科（実習）

戦後、少年保護の新しい波の高まりの中で、激増する非行少年対策の一環として、全国に少年院が新設されることとなりました。浪速少年院においても、生活指導や職業補導（現在の職業指導）といった、現在まで脈々と受け継がれる矯正教育が展開されていきました。なお、昭和39年、浪速少年院は職業訓練専門施設に指定され、機械科、板金科、クリーニング科等、専門的な知識や技能を身に付けるための職業補導が実施されてきました。

現在の浪速少年院



職業指導（農園芸）



職業指導（電気工事）



職業指導（ICT科）



社会貢献活動（車いす清掃）



水泳指導



運動会

平成27年6月、改正少年院法が施行され、生活指導や職業指導、特別活動指導など、矯正教育の柱に大きな変更はないものの、時代に即した内容に改められるとともに、社会復帰をより円滑に進めるための処遇に重点を置くようになりました。そして、令和4年4月1日、改正少年法が施行され、18・19歳については特定少年として民法上の成人であることを踏まえた処遇がなされることとなりました。令和5年4月1日現在、浪速少年院では、56%の在院者が特定少年となっています。



浪速少年院は、大正十二年に我が国最初の少年院として大阪府三島郡春日村郡山（現在の茨木市郡山）に設立されました。少年院の教育は、その時代の要請に応じて変化してきており、あるべき姿については、その都度議論され修正が加えられてきたところですが、規律と愛情こそが少年院の教育を支える変わることのない原理であると信じ、今日も、我々職員は在院者たちと向き合い、矯正教育を実践しています。そして令和5年、浪速少年院は創立100周年を迎えました。

庁舎建物の変遷



◆初代庁舎
1932年～1960年



◆二代目庁舎
1961年～1996年



◆三代目庁舎
1996年～現在



特集

浪速少年院創立100周年

日本で最初に設立された「浪速少年院」は今年100周年を迎えました。その変遷について、浪速少年院に寄稿していただきました。



浪速少年院公式キャラクター「なにワン」

令和5年度 保護司会総会

去る令和5年4月13日、四年ぶりにご来賓をお迎えして総会を開催することができました。議案はすべて原案通りに全会一致で承認・可決されました。

令和5年度 活動基本計画

新型コロナウイルスの感染拡大により、前年度も、対象者との直接の面接ができなかったり、新年互例会が開催できなかったりと、活動が制限されましたが、今年度は、行動制限も解除される方向にありますので、活発な保護司会活動を展開していきます。

保護司会は会員一人一人が活躍する場であるという原点に立ち返り「みんなの保護司会」をテーマに、部活動および班活動の活性化を図り、サポートセンターについても、みんなが集える有意義な場所にしていきます。更に、保護司会独自のホームページを立ち上げ、色々な情報を発信していきます。保護司会は誰かのものではなく、

保護司会 動 静

新任保護司です。よろしく

河田 真理子 (天王中学校区) 令和五年一月二十五日付

富田 彰乃 (東雲中学校区)

古市 暢章 (南中学校区)

茨木地区担当 保護観察官が 代わりました。

着任のご紹介 大阪保護観察所社会復帰調整官から 田所 良太氏 転任のご紹介 大阪保護観察所処遇第一部門へ 関口 達也氏

重点事項 ① 再犯防止に重要とされる就業対策では、市の臨時職員雇用制度の活用と国の就労報奨金の利用促進を協力雇用主に推奨します。

② 更生保護サポートセンターは、市民の相談窓口として、また保護司の自宅以外での面接場所や保護司同士の処遇会議の場として、更には他の更生保護団体との連携の拠点として、一層の積極的活用を図ります。

③ 保護司の充足率が低下傾向にありますので、保護司の適任者確保の情報収集に努めるとともに、保護司相互の情報交換や研鑽のため班ごとの処遇会議や部活動の活性化を図ります。

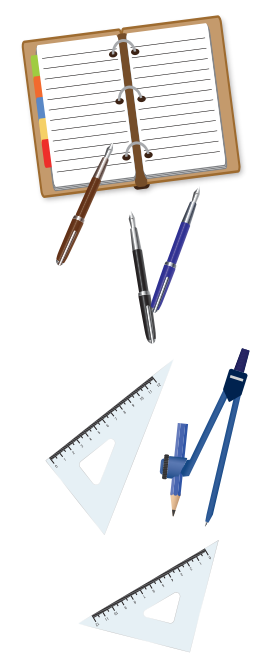
④ 保護観察対象者の就労を促進し生活の安定を図るため、協力雇用主の開拓と連携に努めます。また、市の臨時雇用制度の利用促進を図ります。

⑤ 「社会を明るくする運動」茨木市推進委員会」の構成機関・団体と協働して第73回目の効果的な「社明運動」を推進します。

⑥ 保護司相互のコミュニケーションと親睦を深め、保護司会の活力を高めるため、会員のための厚生活動を企画実施いたします。

⑦ 保護司として被害者救済のことにしても、研鑽に努めます。

⑧ 業務の効率化を求める時代の趨勢には臨機応変に対処すべく準備をまいります。



茨木地区更生保護女性会 結成50周年を迎えて

会長 西島幸江 更生保護女性会(更女会)は、戦前から少年保護などの活動を行っていた女性団体を前身として、昭和24年に更生保護制度施行に伴い、全国的に地区更生保護婦人会が組織されていきました。

流を続けています。また、平成30年に孤立予防のために開設した「なでしこほっとサロン」は茨木市のSNSでも案内を行い、話すことで少しでもストレスを軽くしていただければと思います。令和3年12月からはコロナ禍での生活困難者への支援として「フードパントリー茨木」への物資提供も実施しています。

茨木地区更生保護女性会 設立50周年 記念式典・講演会 とき 令和5年10月21日(土) (予定)

事業計画

Table with 12 columns (months) and 1 row of activities. Includes dates like 3月, 2月, 1月, 12月, 11月, 10月, 9月, 8月, 7月, 6月, 5月, 4月 and activities like 定時総会・定例会, 自主研修・定例会, etc.

令和5年度 役員・顧問・相談役

Table listing roles and names: 副会長 長 田 諷 副会長 長 早 智 子, 専務理事 康 典 行, 理事 松 本 元 訪, etc.

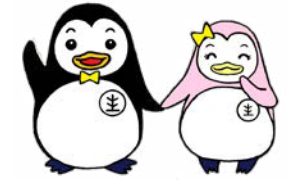


受章お祝い 申し上げます 旭日双光章(地方自治功労) 山本 隆俊 保護司 サポートセンター開設に多大な尽力をして頂きました。

敬 弔 (名誉会員) 故 綿 田 元 松 氏 八十歳 令和五年二月二十四日(逝去) H 6・9・25 H 30・9・24 故 中 内 稔 氏 九十五歳 令和五年三月二日(逝去) S 43・11・28 H 12・9・24 生前のご芳情に 心より御礼申し上げます。

協力雇用主会新入会 加勢本建鉄 株式会社 茨木市沢長宣東町一九一三 (業種) 鉄筋工事

編集後記 ●先輩保護司に相談しながら、職務に、対象者に向き合うところです。(A) ●先日、はじめての生活環境調整面接のため、奈良少年院に行ってきました。保護司活動の意義ややりがい、可能性を感じられる紙面づくりを心掛けたいと思いました。(I) ●ある掲示板に「なるようにしか ならんから 今を“切”に行きよ」とあった。過去や未来にとらわれず、目の前の一瞬一瞬を大切に、すすむしかないなあ。(O)





茨木市更生保護サポートセンター

電話 072-620-8310
はんざいゼロ

非行・犯罪に関する相談をお聞きします。秘密は厳守します。
来所の際は必ず電話予約をお願いします。

【開所時間と相談予約の受付時間】平日 10時～16時（祝日と年末年始は除く）

【所在地】茨木市福祉文化会館(オークシアター)1階（茨木市駅前 4-7-55）

予約をすれば夜間、土曜日、日曜日に相談することも可能です。

※平素は、保護観察対象者やその家族との面談、保護司の研修、更生保護関係団体相互の情報交換、会議などに使用されています。

茨木市更生保護サポートセンター 通信



祝 サポセン10周年

顧問 西上雄二

サポセンが開設10周年と聞いて感慨深いものがあります。

10年前、私は保護司会会長であったが当初この実現性には懐疑的であった。まず予算が全然足りない、国の事業なら国の予算で賄うのが原則なのに、とても使用料や光熱給水費等の維持費が賄えない。それと市の協力でサポセンが出来たとすれば、これまで市で行ってきた保護司会の事務局機能は、自前でどうぞと言われかねないことを密かに恐れた。事実あの頃は大阪市では橋下市政で各区の保護司会は区役所から追い出されていた。それでも他市に遅れを取るわけにはいかないので、市長に直談判することになった。保護司会会員の市会議員も大いに活躍してくれた。市当局も更生保護は市にとって重要な案件と言って、最高の便宜供与をしてくれた。国も予算確保に努力された。おかげで大阪府内でも早い段階で設置することができた。

あらためて当時の市関係者にお礼を申し上げたいと思います。今後も関係者のご尽力により茨木市が犯罪のない明るい社会であることを念願しております。

サポートセンターは来年度現在の場所から移転する予定です

★令和4年度下半期の利用状況★

(R4.10.1 ~ R5.3.31)

保護観察官の定期駐在	5回	
保護観察対象者との面談	103回	
会 議	保護司会	3回
	更生保護女性会	15回
	茨木BBS会	7回
	更生保護推進協議会	1回
	更生保護協力雇用主会	1回
	その他	0回
市民からの相談	0件	
保護司来所人数(延べ人数)	323人	

開 所 日 数	10月	11月	12月	合 計
	21日	20日	20日	
	1月	2月	3月	119日
	18日	18日	22日	

茨木地区 事件係属状況	保護観察 件数	生活環境調整件数	
		刑務所等	少年院
令和4年10月	45	44	2
令和4年11月	49	38	1
令和4年12月	44	38	2
令和5年 1月	44	38	3
令和5年 2月	42	38	3
令和5年 3月	44	37	2

(各月末日現在)